

令和2年度 第2回宇和島市総合教育会議会議録

- 1 開催日時 令和3年2月18日(木) 15:30~16:40
- 2 開催場所 宇和島市役所 A棟会議室
- 3 出席者 宇和島市長 岡原 文彰
教育長 金瀬 聡
教育委員 高山 俊治 教育委員 木下 充卓 教育委員 弓削 由美子
教育委員 浅井 敬司 教育委員 田村 裕子

総務企画部長 西本 能尚
教育委員会事務局
教育部長 片山 治彦 教育総務課長 面川 啓之
学校教育課指導係長 石丸 里佳 生涯学習課長 富田 満久
文化・スポーツ課長 森田 浩二 人権啓発課長 山本 利彦
学校給食センター所長 児玉 雅人
教育総務課総務係長 山口 真史 教育総務課主事 新居田 智士

1. 開会

○教育総務課長

ただいまから、令和2年度 第2回宇和島市総合教育会議を開会いたします。

本日の進行を務めさせていただきます、教育総務課長の面川と申します。どうぞよろしくお願いたします。

それでは開会にあたりまして、岡原市長、ご挨拶をお願いいたします。

2. 市長あいさつ

◎市長

改めまして皆さんこんにちは。

本日は大変ご多用の中、教育総合会議にご参集くださいまして誠にありがとうございました。

令和3年スタートしたということをお願い申し上げますけれども、月日はあつという間に流れまして、2月も後半へとさしかかろうとしているところでございます。本日は、宇和島市教育大綱の改訂について、議題として上がっているところでございます。

この中身は、これまで教育委員会が中心となって進めようとしてきた、例えば、タブレットであるとか、またGIGAスクール構想であるとか、こういったものが加速度的に進んで参りました。そうした取り巻く環境が大きく変化をしている今年度だった。そのように言えようかと思ひます。

そういったことから、昨年度に、総合教育会議で議論を重ね策定を行ってまいりました、宇和島市教育大綱でございますけれども、今を取り巻く現状を踏まえ、一部やはり内容をしっかり検討していこうと、更新をしておきたい、そういった意味での改訂とご理解をいただけたらと思ひます。

皆様方におかれましては、それぞれのお立場で闊達なご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、ご承知の通り、この会議は、市長と教育委員会が一堂に会し、意見を交換する大変貴重な時間、機会でございます。教育長、教育委員の皆様におかれましては、宇和島市の教育のさらなる充実発展のために、忌憚のないご意見をお聞かせいただきますことを心からお願いを申し上げます、私のご挨拶にかえさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。

○教育総務課長

ありがとうございました。

続きまして、金瀬教育長、ご挨拶をお願いいたします。

3. 教育長あいさつ

◎教育長

今ほど市長の方からもご挨拶いただきました。

変化が加速しているというお話がありましたけれども、昨年のちょうど1年前になります宇和島市教育大綱を策定した折に、それまでの宇和島市の総合計画、そして総合戦略、そしてさらに言えば、宇和島市教育大綱の表紙にもなっていますけれども、「宇和島ココロまじわうトコロ」、このロゴマークで、市民共通認識を持ってやっていきたいと思いますということですので、ブランド魅力化計画も踏まえた形で、中身を策定して参りました。

特に市長から宇和島市教育大綱の「はじめに」というところで、オール宇和島でやっていこうという熱い気持ちを語っていただいておりますけれども、この中身については、私たち教育委員会としての、次世代の地域の創り手をつくっていくという意味において、共感するところがございます。

そういう意味で、昨年策定したところですが、この1年間は本当に新型コロナウイルスに振り回されまして、昨年4月に緊急事態宣言が出て、そして全小中学校、高等学校がステイホームになるような状況の中で、消毒などの感染症の予防対策にも本当に先生方の現場は大変な思いする一方で、学びの保障も考えなくてはいけないということで、ここから先どういう対策が具体的に必要になっていくのかといったことがなかなか見通せないまま、この時期を迎えました。ようやく、学校もここから先、一斉に休業ということはなさそうですし、そして、学びの保障という観点では、1人1台の端末の整備も、この1月からは行われているということで、そういった状況を踏まえた形での改訂を行っていくという趣旨でございます。

良いものにしていきたいと思っておりますので、ご議論いただけたらと思います。

どうぞよろしくをお願いいたします。

○教育総務課長

ありがとうございました。

それではここからは、宇和島市総合教育会議運営要綱第5条の規定によりまして、進行を市長をお願いいたしたいと存じます。

どうぞよろしくをお願いいたします。

4. 協議事項

◎市長

それでは早速協議を進めて参りたいと思います。

協議事項の(1)宇和島市教育大綱の改訂について、事務局、説明をお願いします。

○教育総務課長

それでは新旧対照表をご覧くださいと思います。

先ほど市長、教育長のご挨拶の中にもございましたが、再度確認いたしますと、昨年の3月末に一旦、現行の宇和島市教育大綱は、策定をしており、4月の教育推進大会で教育長が発表して、ご披露というスケジュールで進めておりましたが、4月16日には、皆様ご存知のように、緊急事態宣言が発令、以後は、様々なことが起こったこの1年であったかと思えます。

そういった経緯を踏まえまして、今回特に、大綱を早々に変えるべき事項があるのではないかと、今回協議事項としてご提案させていただいた次第でございます。

1ページに関しましては、ロゴマークの下に宇和島ココロまじわうトコロと、キャッチフレー

ズを挿入して改訂年月日を入れております。

2 ページは、変更はございません。

3 ページは、策定の趣旨を記載している部分でございます。本年の新型コロナウイルスの猛威とともに、学校や地域社会で様々な試練と向き合うようになったこと。また、コロナ禍の様々な影響を受け、世の中の変化がより一層加速したこと。教育をめぐる環境が大きく変わろうとしていることなどを追記しております。

続いて4 ページをご覧ください。表中の宇和島市の教育振興基本計画でございますが、策定年度を「令和2年度」を「令和3年度」に変更をいたしております。

5 ページをご覧ください。基本理念をよりわかりやすくするために、サブタイトルや一部文言の修正を行っております。基本的な部分に関しては修正はしておりません。また、目指す取り組みの姿として、学校、家庭、地域のあらゆる世代と様々な分野の人々が一体となった、オール宇和島での共育を追記した形としております。

続いて6 ページをご覧ください。振興方針を7 本示した形になっております。

まず1 番目の振興方針でございますが、地域総掛かりの教育に関する方向性にE S Dの追記をしております。

次に、2 番目の生きる力の育成の振興方針の方では、新学習指導要領の実施と、コロナ禍を踏まえた個別最適な学びと協働的学びの実現を目指す内容を追記しております。

続いて7 ページをご覧ください。連携ということはもちろんですが、幼児教育の重要性をさらに強調した表現としております。

8 ページをご覧ください。5 番目の振興方針である、個人の自立と地域社会の共助の取り組み、こちらの方では、デジタル・デバイドの解消とICTリテラシーを身につけて欲しいということを通して触れております。

以上が変更修正箇所の説明です。先ほどもご挨拶の中でありましたが、1人1台端末のG I G Aスクール構想が、1月から導入されております。また今後の運用が、相当に期待をされるころですが、地域総掛かりで、オール宇和島で、宇和島市の教育に取り組んでいきたいという考えで、教育委員会を含めた宇和島市の考えを盛り込んだ内容として、表現をしたつもりでございます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

◎教育長

いくつか、私から補足をさせていただきたいと思っております。

まず、新旧対照表の2 ページをご覧ください。未来の担い手の育成に関わることを通じて、大人たち自身も時代の変化に呼応して成長し、変容していくことのできる「共育」をオール宇和島体制で進めていきます。ここは市長が、ご自身のお考えを、オール宇和島でやっていくということ、仰っているところです。

そのことを、基本理念の中でしっかりわかるように表現をしたいということで、5 ページをご覧ください。昨年の3月に総合教育会議を開いて、この大綱を策定した段階では、基本理念（目指す教育の姿）ということで、一人一人のウェルビーイングと包摂的で持続可能な地域社会、これを、多くの人々が共に創っていく、そういうことを目指す人づくり、つながりづくり、地域づくりを教育の目指す姿と表現していました。

この中身を、先ほど教育総務課長から説明がありましたけれども、まず、宇和島市の教育を通じて何をしたいのかという、その目的を目指す教育の姿という柱で表現させていただきました。そういう目的のもとで、どのような人を育てていきたいのか、という意味で、目指す人の姿を次のように表現いたしました。

そしてさらに、まずは自立した個人としてどうあって欲しいのか、次に、他者との関係として、どのような人であって欲しいのか、最後に、社会における役割として、どのような姿勢で臨んで欲しいのか、これらを明らかにしました。

そういった、目的、目標に対して、どのように取り組んでいくのかという目指す取り組みの姿として、昨年4月から全小中学校がコミュニティ・スクールになり、すべての校区に地域コーディネーターを置き、学校、家庭、地域のあらゆる世代と、様々な分野の人々が一体となった、そして市長の目指しているオール宇和島での教育、そのようなやり方で、教育を進めていくと、ここを基本理念として、皆様に趣旨をより同じレベルで同じ内容で共有できるように、

しっかり表現を作り込んだということであります。

それともう1点説明を加えさせていただきます。

8ページをご覧ください。この令和2年度コロナ禍の中で、本来であれば、5年かけて環境を整えていくはずだったICTの環境が、1年で整うこととなりました。そして今、現場の先生方には、そのICTの有効な使い方についても、一生懸命トレーニングに励んでいただいておりますし、そういったスキルアップをしていただくためのサポートのために、ICT支援員も検討しているところです。

一方世間では、このコロナ禍をきっかけに、リモートでの仕事であったり、オンラインの会議であったりが、当たり前のように行われるという、大きな状況の変化が来ています。そして子どもたちは1人1台、端末を使って学んでいく、だとすると、これは若い人ばかりではなくて、その上の世代の方も含めて、これから大きなひとつのポジションを占めてくる、ICTのツールを、やはり同じように使えることが、豊かな生活を送る上で必要なものになってくるということを、社会教育の中でも扱っていくと謳い込んだという部分であります。

基本理念の部分と、特にこの1年間の変化を学校教育だけではなくて、社会教育の中でもやっていく、そこを柱立てしたというところを補足させていただきました。以上です。

◎市長

今ほど事務局及び教育長より、宇和島市教育大綱の改訂案について説明がありました。

何かご意見、ご質問等ありましたら、挙手の上よろしくお願ひいたします。

◎木下委員

今、教育長から説明がありましたけれども、いろいろと横文字の難しい言葉が出ているので、少し分かりづらいというところがありましたが、今回の改訂では、今見ていただいた、デジタル・ディバイドとは何か、ICTリテラシーとは何かという注意書きをきちんと入れていただきまして、非常に難しい言葉も理解しやすくなったと思います。

7番のところで、人権に触れております。今、新型コロナウイルスの影響で、いろんな差別が出てきております。なかなかそれを文章にするのは、難しいとは思いますが、新型コロナウイルスに関する出来事、対応を、例えば、感染者やその家族への誹謗中傷があったり、医療従事者をはじめとする、運送業などいろいろな仕事で対応している方への、差別などが家族にも及んでいるという、本当によろしくない新しい人権の問題が出ていると思います。またそのあたりのところも、なかなか大綱にはふさわしくないかもしれませんが、必死に新しい病氣と闘っている人たちに対して、非常に残念な出来事が起きていますので、人権の内容の中に、入れていただきたらと思います。

せっかく、去年からのことを踏まえて、また新型コロナウイルスのことも含めて改訂をしたということですので、人権のところでもそれに触れていただきたいと思います。

◎市長

ただいまのご意見に対して委員の皆さんで何か補足されるとか、それに対するご意見とか、ございますでしょうか。

確かに世情に合わせて改訂をするという意味においては、今言われている誹謗中傷等々、大きな問題となりつつあるので、今後ワクチンができようとも、こういったマスクも含めて、新しい生活様式というのは、多分これからある話ですので、やはり実情に合わせるべきだと思います。

これについて、事務局の方で考え方とか、私たちまち文章化とかは難しいかもしれませんが、何かご意見あればお願いします。

○教育部長

大変、今のご意見ありがたいことだと感じました。

今現在、記述をしております内容が2つございます。

1つ目は総論のところ。そして、2つ目は、よく見るとということにはなるんですが、インターネットであるとかスマートフォンはまさに今の時代、もう少し前かもしれませんが、まさに世情を反映した表現をしているということからすれば、今ほど仰った新型コロナウイルスによ

る、いろんな差別といいましょうか、そういったところの記述を3行程度で記述することは、何ら問題ないのではないかと受け止めをしております。

具体的に今、こういう文章でということは、すぐに思いつきはしませんけれども、いただいた意見に対するお答えとして、記述をする方向で考えるべきではないかと思ったところです。以上です。

◎市長

今、教育部長からありましたとおり、たちまち文章お示しできる段階にはございませんけれども、後日皆さんにお示しをすることで、これらを文章化し、この7番のところに、入れていくことに関して、委員の皆様方のご意見とか、賛同いただけるとかそういったのも含めて、何かご意見どうでしょう。

では、これはしっかり入れていくという方向性を確認させていただいたということによろしいでしょうか。

◎総合教育会議

はい。

◎教育長

入れる方向で考えていきたいと思います。

教育部長からも話がありましたように、1つ目が総論、2つ目が新たに生じているような個別具体的な課題ということできていますので、その流れとして、例えば、感染症により生じた、医療従事者や欠かせない経済活動に従事される人に対する、新たな社会情勢に起因する新たな差別や偏見も含めて、人権侵害の防止に努めるといったニュアンスのことを入れさせていただきたいと思います。

具体的には、きれいな文章を作りまして、お示しできるようにしたいと思います。

◎市長

その文章等々は、また後日お示しをして今日は入れていいという、内諾をいただいたということを確認させていただいたということによろしいでしょうか。

◎総合教育会議

はい。

◎市長

その文章には注意して、またお示しをしたいと思います。
他に何かご意見は。浅井委員よろしくお願いします。

◎浅井委員

少し細かい質問意見の前に、今答えも半分出てきたところもありますが、この改訂にあたって、今日どこまで踏み込むのか。

それから、例えば、今日出てきた意見が反映されたものが、また後日出てくるのか。それとも今日ある程度完成版を作るのか。そこまず教えていただきたらと思います。

◎市長

私の考えでは、今日方向性は確認していただいて、その文章というものが個別的に見ていただくのかと思っています。

事務局においてはどのようにお考えでしょうか。

○教育部長

この場で、結論まで至るところは、もちろん結論に至っていただくことが一番ありがたいと存じますけれども、先ほどの木下委員からのご指摘のように、少し文章作成等々、時間が必要だという部分におきましては、申し訳ありませんが、後日お伝えをするという形にさせていた

だけたらと思います。

やはり、もう1回集まって、協議が必要だというご意見が、この後、もし出て参りましたら、もう1回開くということはもちろんやぶさかではないと考えております。以上です。

◎浅井委員

わかりました。

別件で、質問と意見ですが、まず、6ページの右側の一番下の文章の中にある、「個別最適」という言葉が理解しにくかったので、教えていただけたらと思います。

◎教育長

個に応じた学びとか、指導とかという言葉は、これまでもあったと思いますが、ICTの端末が入ったことで、相当に、進度とか、レベルとか、個別に対応できるような余地が出てきたことも、ひとつ大きな理由になっていると思います。

非常にわかりやすい具体的な例でいきますと、宇和島市で入れた端末にも、児童生徒の答えが、正しかった、間違っていた、間違っていたとすると、どの単元のところで、間違っていたのかをAIが判断してくれて、ここを勉強してみよう、次はこの問題やってみようといった、児童生徒の回答内容に応じた、次の教材を提案してくれるというものも含んでいます。

そういうところも含めた、よりきめ細かな個に応じた指導、ないしは自主的な学びができるような環境が、整ってきましたので、そういうものを活用していこうという意味であります。

◎市長

今の説明の趣旨でいいのか。最適な学びという表現の問題なのか。

◎浅井委員

「個に最適」の方が、まだじっくりくるのではないかと、今のお話を聞いていて思いました。

◎教育長

いろんな表現の仕方があると思いますが、中央教育審議会の答申であったり、学習指導要領であったり、そういうところで使われてる用語を、表現を合わせる意味で使っております。

◎浅井委員

もう使われている言葉だったら大丈夫です。

もう1点構いませんか。7ページの、「また、その推進にあたっては、教師の負担軽減につながるような働き方改革を推進します。」のところですか。推進が2度出てくるので、今までの「推進にあたっては、(中略)改革を踏まえたものとします」の方が、ずっと入ってきたと思えました。

表記の問題ではあります。その2点が少し気にかかります。

◎市長

これは事務局に聞きます。

この点については、最適な表現を今決めますか。

○教育部長

これはこの場で決めることのできる話のように思ってたんですけども、仰るとおり「推進」が重なってしまっているんで、まずこの表現は、修正すべきだろうと受け取ります。

その上で、原文に戻すのか、或いは、例えば「加速するように努めます」とかそういう表現に変えるのか、この2択かと考えたりをしておりますけれども、推進を重ねるのがよくないというのは、そのとおりだと思います。

◎市長

例えば、教育委員の立場で、浅井委員に限らず、こういったものが良いというものがあれば、それを積極的に採用できたらと思います。

事務局としては、「踏まえたものとする」という原文に戻すのか、「加速化します」とかそういったものは、今、一応の提案がありました。

これから、多くの広がりがあるかもしれませんが、一応の提案をなされましたが、何か他にじっくりくるような表現があれば、ご提案頂いたらと思います。これは教育長も含めて、何かあればお願いします。

◎浅井委員

「推進」という言葉自体が前に進んでいくという意味合いがあるので、さらにまた加速というのを付け加えなくても、いいと個人的には思います。だから、その前の文章の「踏まえたもの」とでもおかしくはないと思います。

◎市長

今、浅井委員の方からそういったお話もありましたし、「前提とします」でもいいかもしれない。働き方改革を合わせた言い方もできるかもしれない。

◎教育長

ご指摘ありがとうございました。実はここの部分を起案したのは私で、まず趣旨をお話したいと思います。

「また、その推進にあたっては」という原文は、その上に掲げられたようなことを推進する上においては、教員の負担にならないようにしますという考え方になっていると思います。極端に言うと、上の方は当然に推進しますと、あわせて教員の負担軽減に繋がるような働き方改革も当然やりますというつもりで書いていたものですから、もしその意味にご賛同いただけるのだとすると、この2段階構えになっているのをやめて、また後の「その推進にあたっては」というところを例えば「並行して」とか、或いは「その推進にあたっては」というところを取ってしまうとのはいかがでしょうか。

上に掲げている取り組みは当然にありますと、そして、教員の負担軽減に繋がるような働き方改革も推進しますと、ですので、もう一度申し上げますと、「また、その推進にあたっては」の一文を全部取り、取り組む中身を羅列している1つとして、教員の負担軽減に繋がるよう働き方改革を推進しますと、その上の内容を全部受けるのではなくて、それらの1つとして、負担軽減の働き方改革をやります。

◎市長

今、教育長の方から、「また、その推進にあたっては」を消して、並んでる言葉の箇条書きの1つとして、教師の負担軽減に繋がるよう働き方改革を推進します。」とする、そういった案もありましたけれども、これについて、何かご意見ございますか。

また事務局でも、いろいろ案があれば。

少し私が思うのは、1番から7番までメニューがある中で、ここで、先生たちが活躍するのは、特に2番だけではない。全体の話をして、先生たちの働き方改革という問題は大本題としてあるのであれば、ここで改めて小見出しで出すというよりは、その前提のものなので、2番だけに引っかかるというよりは、先生が関わるシーンはすべてそれなので、とりわけここで強調するというよりは、どこかでこれらがしっかりと受けていれば、全体にかかるということにならないのかなと思います。

それらは、何か手前でかかるということはないのでしょうか。例えば1番のコミュニティ・スクールで、これを目指しますということなど、こういうことは先生方の、もちろんご活躍なしでは語れないのではないのでしょうか。

◎教育長

1番から7番の柱の立て方を少し解説したいと思います。

1番は、学校、地域、家庭が一緒になって総掛かりでやるという中身です。そして、2番、3番、4番がどちらかというと、学校を中心とした展開の部分になってきます。そして3番は特別支援の話、4番はいろいろな事情を抱えているケース。2番はそういう意味でスタンダードな部分だと思います。5番がどちらかというと、社会教育、生涯学習のジャンル。6番は文化・

スポーツ。7番が人権啓発、こういう立て方になっています。

そして、2番、3番、4番が、どちらかという学校が内容の中心部分なので、この中で入れるとすると2番というようになります。

市長仰るように、すべての部分にかかるという意味では、確かにその通りだと思います。

◎市長

それぞれ、何かご意見ございませんか。

◎田村委員

私も、初めにこの文を読んだときに、何か少ししっくりこないと思って、考えてはいたんですが、これといったものは思い当たりませんでした。

私は、全部取っ払って、「教師の負担軽減繋がる働き方改革を推進します」とだけ来るのは、少しぶっきらぼうな気がします。

だからといって、「教師の負担軽減につながるよう働き方改革を推進します」の前に何をつけたら良いかはわかりませんが、総合的に示すような文言があれば良いと思います。元の「踏まえたもの」よりは、もっと進んだものでもありたいなとは思っています。

◎市長

高山委員、何かありますか。今の意見を踏まえて。

◎高山委員

私は、「推進にあたっては、(中略)働き方改革を加速していきます」ぐらいしか思いつきません。

◎市長

他、弓削委員、ございませんか。

◎弓削委員

私は、「また、その推進にあたっては、」というのを、教育長が言われたように消して、「教師の負担軽減につながるよう働き方改革を推進します。」の一文でいいと思います。

◎市長

木下委員、何かご意見ありますか。

◎木下委員

学校のところをここで最初にいうので、ここでしか教師のことについては触れるところがないとは思っています。やはり、シンプルに「教師の負担軽減につながるよう働き方改革を」そのままがいいと思いますが、「加速」がいいのか。いい言葉が今、思いつきません。

シンプルに教師の働き方改革を進めるということは、ここで謳って良いのではないかと思います。

◎市長

「推進」と言うと、こう単なる「活性化」という言葉と一緒に、何かスピード感がないようなイメージがある中で言うと、先ほど高山委員も言われたように、例えば、「教師の負担軽減に繋がるように働き方改革を加速化します」という方が、強いメッセージになるのかもしれない。

ですから、言葉は探せばいろいろありますけれども、田村委員からは、何かしら前にあった方がというご意見もございますけれども、シンプルに、先生たちの環境整えるという趣旨を通すのであれば、「また、その推進にあたっては」をまずは取り除いた中で、「教師の負担軽減につながるような働き方改革を推進します」か、「加速化します」、この2つで決めていくということでもよろしいでしょうか。

事務局、何か対案あるなら、今お示しいただいたらと思います。

○教育部長

市長、教育委員の皆様で、お決めいただく場だとは思っておりますが、1つ思い切ったご提案といたしましては、そもそも教員の負担軽減に繋がるようにすることそのものは、わざわざここで謳わないといけないんだろうかという、気も少ししております。つまり、1つの選択肢として、この2行自体を削除するという選択肢もあるのではないかということです。

教育大綱とはそもそも、今後この教育や分野についてはこういうふうに進んでいきますということを謳うものであって、全般において、先ほど市長が少し仰いましたが、教師の働き方改革に配慮していくということは、全てにおいてしなければならないことであるからして、7つあるうちの1つの中だけで特別に謳うのではなくて謳うならば8つ目にする、もしくは、いっそうのこと、ここでは謳わずに、教育振興基本計画でしっかりそのことに触れていくというやり方もあるのではないのでしょうかというご提案だけ差し上げます。

◎市長

事務局から新たな提案として、そもそもこの分野は、今後の進め方を、教育大綱という形ですのような内容を、まさに包括をして、先生たちをサポートするというのは、明日、記者クラブとの懇談で、今日は議会での説明がありましたけれども、先生たちをサポートする体制はもちろん責務として、今回の予算をつけさせていただいてるところです。

また、今後策定いたします教育振興基本計画等々で、常に先生たちの働き方改革は謳うところなので、ここからもう除いてしまうというのも1つ、当然に推進することですので、それも選択肢です。

もしくは、1番から7番の大見出で謳っている中の1つとして、あえてやはり触れておこうという案もございます。

これについて、委員の皆様のご意見、いかがでしょうか。

7つが8つ増えても、特に問題はないですか。

◎教育長

それは、問題ありません。

◎市長

浅井委員、何かご意見ございませんでしょうか。

◎浅井委員

今、教育部長のお話を聞きながら、除いてしまうのもありだと私も思いました。

働き方改革は、とても大切なことですが、ただ教育大綱に限ったものでもありません。逆に除いてしまった方がすっきりすると、今お話を聞きながら思いました。

個人的にはなくてもいいと思います。

◎市長

1番から7番までの内容は、教育を進めるべき内容の話をしているところで、結果として2番が先生方のかかわる要素が強いので、多分補足説明として触れられた。それが大きく、教育の方向性に並列することについてのご意見だと思います。

今、浅井委員からも、思い切ってここは取り除いて、ただこれは、教育現場における永遠の問題 と言ってもいいと思いますけれども、それはしっかり担保していくことは1つの選択肢だと思います。

他に、こういったご意見がなければ、残すべきか、取り除くべきかで一旦皆様のご判断を仰いで、取り除いていいのではないかとということなのであれば、ここを、内容として「また、その推進にあたっては、教師の負担軽減につながるよう働き方改革を推進します」を取り除くという判断も1つの選択肢だと思いますので、ここで皆様のご意見、採決といたしますか、それを採らせていただいたらと思います。

それではまず、この「○ また、その推進にあたっては、教師の負担軽減につながるよう働き方改革を推進します。」という文章自体をここから外すべきだと言われるは挙手をお願いします。

◎総合教育会議

4名挙手。

◎市長

教育大綱で、教育の中身を決めていくということで、高山委員もお考えがあらうかと思えますけれども、その方向性で取り除かせていただいて、しかしながら事務局の方におかれましては、これも先生たちの環境が一番の大きな課題だと思いますので、その点については、しっかりとした配慮をお願いして、ここではこれを取り除くという方向性で、確認をさせていただきました。

その他、何かご質問等々ございませんでしょうか。

◎高山委員

8ページの個人の自立のところについてです。この趣旨について、3ページに「これからの一人一人の人生を豊かなものにする」とある中で、地域貢献とか、いろいろ心の面があるんですけど、赤字で直した「デジタル・ディバイド解消のため、(中略)学習機会を充実します」の中に、経済のことについて入っているのでしょうか。

私はファイナンシャルプランナーの資格を持っていて、小学校や中学校から経済について、例えば今10万持っていて、定期預金しても1円しかつかない。けれど、今スマホだったら、100円ぐらいから株式や投資信託とか、資産運用ができます。そういう面についても、もう少し教えていくことができないか。

今、私も退職したばかりですが、友人とかに、そういう話をするけど全く知らない。知らない人は、定期預金くらいでしかお金を増やす方法も知らないなので、この「デジタル・ディバイド解消のため、(中略)学習機会を充実します」の中に、そういう経済に対する、学習の内容も入っているのかどうかをお尋ねしたいんです。

◎市長

これは、教育長が文案出されていると思いますので、教育長お願いします。

◎教育長

この学習機会の中には、目的と言った方がいいかもしれませんが、経済はもちろん、健康、医療、およそICTツールを使って、取り扱っていくことになるような、世の中のいろんな情報であったり、その処理であったりを、このツールの使い方を知らないがゆえに、便益を享受できないということではいけないという意味で、デジタル格差をなくすように、最新のツールを、誰もが簡単に使えるような学習の機会を設けていきたいと思いますということなので、その中にはそういう金融の話は当然含まれていると考えています。

ここから、そこが具体的にイメージできるのかと言われると、少し弱いところもあるかもしれませんが、ここでは金融、福祉、医療、そういったものをすべて含んでという考え方です。

◎市長

高山委員、いかがでしょうか。

◎高山委員

できれば、経済についての、起業とか、あと今お金集めて、NPOやクラウドファンディングとか、そういうものも、小学生の時から教えてもらう内容を入れてもらうように、事務局にお願いします。

◎教育部長

お答えいたします。

教育大綱があって、先ほども少し触れましたけども、この下に位置する教育振興基本計画が、今、令和3年度から策定をする予定になっております。

今仰ったことの位置付けから言えば、私の受け取りが間違っていなければ、この教育大綱で

謳うというよりは、教育振興基本計画のところに、仰ったことを含んでいく方が、寧ろ良いのではないかと考えたところでございますが、いかがでしょうか。

◎高山委員

この「デジタル・ディバイド解消のため、(中略)学習機会を充実します」の中に、その経済が入っているということなら、それでよろしくをお願いします。

◎教育長

ちなみに、新しい学習指導要領の中では、主権者教育であったり、キャリア教育であったり、金融教育であったり、そういうものがメニューとして並べられていますので、ここは当然扱うことになってきます。

◎市長

他に何かございませんでしょうか。

私から何点か書類のつくりでお伝えします。

2 ページで、私が「オール宇和島体制」ということを書いてます。2 ページは変更しないというところですが、一方で5 ページ目は、今度「オール宇和島体制」ではなく「オール宇和島」での共有とあります。市長公室での、実は、2 ページの「オール宇和島で進めていきます」というところを、私が体制と書いてしまっているの、ここもう1回市長公室は確認したほうがいいのですが、本来は「オール宇和島で進めていきます」でやっています。一方5 ページは「オール宇和島」と元の形に戻っています。ここだけ確認いただいて、どうするかを決めてください。

それと、6 ページの右側の一番下から2行目。感染症対策、いわゆるこれは、新型コロナウイルスを想定しているのか、感染症と言ってもいろいろある中で、何かにフォーカスはしなくていいのか。言葉が新型コロナウイルスとか、そういう何か特定する、あらゆる感染症に備えたルールとして書かれようとしているのか、その新型コロナウイルスが、いろんな価値観では入ってるから、それを想定しているのか、予防なのか、対策の視点も含めて、そのあたり、少しぼんやりしてるなというところは、どうなのかと気になった点です。以上です。

◎教育長

ご指摘いただいた部分、意味合いを申し上げたいと思います。

オンライン・オフライン両方上手に使いこなして、より良き学びを目指しましょうということころです。主に言いたかったのは、より良き学びを目指していきましょう、ということころです。

ただ、今回のGIGAスクール構想とか、これは単に良き学びのためだけではなくて、新型コロナウイルスが蔓延した時に、このステイホームになっても勉強継続できるようにという意味合いがあったので、感染症対策の視点も含めてという書き方にしました。

頭にあったのはあらゆる感染症予防のためということではなくて、主には新型コロナウイルスを念頭に置いてましたが、場合によっては感染症対策の視点も含めてというのは、取り除いても良いかもしれません。

◎市長

感染症に限らず、使い方として今日は家で在宅でとかいう価値感が、なかなか小中学校にはないと思いますけど、あまり感染症対策は関係なしに、このオフライン・オンラインの特性を生かしながらとか、そういった部分だと思うので、「感染症対策の視点も含めて」という部分を削除する、これは皆さんのご同意していただけるということでもよろしいでしょうか。

◎総合教育会議

はい。

◎市長

「オール宇和島」についてはどうされるかは、事務局の方でまた確認ください。

◎教育長

「オール宇和島」は、極端に言ったら、すべての教育委員会の関係者、そしてもっと言うと、すべての市民が同じ言葉で語れるようになるということは結構大事な部分だと思いますので、用語はきちんと揃えたいと思います。

◎市長

私も2ページのチェックが足りなかったですが、ここも変えないといけなくなるかもしれないと思っています。この言葉で、もう最初の冒頭の言葉を選択するところで、まずお任せいただいて、こういうふうになりましたという、後日のご報告でもよろしいでしょうか。

◎総合教育会議

はい。

◎市長

市が使っている言葉に合わせて表記を変えていくということで、またご報告を差し上げます。他に何かございませんでしょうか。

◎田村委員

改訂版の宇和島市教育大綱と、この大綱の概要を双方見ながら読み進めていたら、とても見やすかったです。

特にこの矢印の先にあります、目指す教育の姿。先に教育長が言われたように、ここに目標を定めることで、とてもわかりやすく感じました。

特に今回追記された、目指す取り組みの姿、「学校、家庭、教育のあらゆる世代と様々な分野の人々が一体となった、オール宇和島での教育」。これは本当に私自身も思いを入れて、関わりたいと思っていることですので、この言葉が入ってすごくよかったと感じます。

また全体を見ていた時に、やはりこの国の方針と、新しい教育制度、そしてこの宇和島独自の取り組み、この3つがすごく合わさって、本当に市長と教育委員会が作り上げた大綱になっていると、そのように思いました。

◎市長

視覚的に、やはり文章をただ読むだけではなかなか分かりづらいところが、1枚でビジュアルでわかりやすい。いろんな意味でこういう形で教育というものを表現していきたい、それが教育委員会の今のやり方だと思いますので、私としてもこういうものをそろえて、皆さんにお知らせしていきたいと思います。他にございますか。

◎弓削委員

前回の大綱を作ったときにも関わったのですが、今回の新しい大綱は、全く違った分野のことも多く含まれていると思います。

1人1人にLTE端末の導入というのも、本当に考えられなかったことで、一気にそういうのが進んで、私はとてもついていけなくなっていますが、学校の支援員で入っているのですが、子どもの方がすごく操作に慣れていて、感心してしまいます。

私も頑張らないといけないと思いますが、もう一方で、私はこういう端末を使う授業とかもいいと思いますが、やはり人間同士、先生と生徒が関わるというのが、すごく大事なことだと思うので、そういうのもこれからも進めていって欲しいと思いますし、コミュニティ・スクールもすごく定着して活発になっているので、そういうのもこれからもどんどん、私もいろいろ協力して、地域のために頑張っていきたいと思っています。

本当に、私も田村委員と一緒に、すごくわかりやすく読みやすい。以前の大綱よりも良いものができ上がっていると思っています。

◎市長

私から、1点だけ。

そういうタブレットとかが目的化してはいけませんよね。もちろん目的として、操作を、

きっちりできるというのは、1つの目的ですけれども、やはりこういった大綱に書かれているような子どもたちになって欲しいというのが目的であって、その中での手段ですので、やはりそういった意識で、市長部局としても、つけるべき予算等々も含めて、しっかり対応していきたいと思います。

◎教育長

ここから先「オール宇和島」でやっていく上で、田村委員、それから弓削委員から仰っていただいた、なかなか文章では伝わりにくいところを、1枚の絵で、私たちみんなそこを目指していると、だからこういうところを、こういう人を目指すと、全員でやると、地域が抱えてる課題はこれであると、もしチャンスにしていけるようなことがあるとしたら、それはこの部分である、というようなことがご認識いただけることをイメージで作りましたので、ここから先は普及の方も、ぜひお力添えをいただければと思います。

◎市長

その他何かございませんでしょうか。
まず、この教育大綱について事務局からありますか。

○教育部長

補足ですけれども、先ほどご協議いただいた結果として、7ページの教師の負担軽減の部分は削除するとご結論いただいたかと認識しておりますが、今の協議を全く知らない方がこれだけを見ると、あたかもその教師の負担軽減のところを削除されている形になりますので、後ろ向きの印象をお持ちになる危険性がございます。

従いまして、今回の改訂版の説明を差し上げる際に、最初か最後の部分で、当たり前に取り組んでいくんだということは説明者の方から申し添える形に、させていただきたいと思いますので、一言申し添えます。

◎市長

最後の部分に説明を記載するということですか。

○教育部長

説明者の方から、当たり前に行っていきなすということを申し上げるようにして、決して教師の負担軽減を軽視したとか、しなくすとか、そういう印象が残らないように努めたいと思います。

◎市長

そのようにしっかり対応していくところでございますので、よろしく願いいたします。

5. その他（意見交換）

◎市長

それでは、ご意見も尽きたところでございますので、次のその他に移りたいと思います。
その他につきまして、よろしく願いします。

◎高山委員

総務企画部長にいいですか。市の会計年度任用職員が事故をした時に、労災申請は総務課にするところまではわかっているのですが、その決裁は、部長がされるのですか。

○総務企画部長

総務課長による最終決裁となります。また各担当にも合議は回ります。基本的には事務局で、対象になるかどうかという判断はして、最終的に総務課長で決裁するという手続きとなります。

◎市長

よろしいでしょうか。
他に何かございませんでしょうか。

○教育部長

事務連絡を1件、お伝えをいたします。

小中学校の卒業式・終了式についてでございます。こちらにつきましては、このような状況下でもございますので、規模を縮小、その内訳としましては参加者の制限でありますとか、開催時間の短縮等々の配慮をした上で、実施をしたいと考えているところでございます。

感染予防対策はもちろんのことですけれども、教育委員会告示につきましても、掲示する形に変えさせていただくとか、できる限りの配慮をした上で、実施をすることを考えてございますので、今日お伝えをしておきます。

その先の入学式、始業式につきましては、現段階ではまだ決定したところございませんけれども、また追ってお伝えをしたいと思っております。

どうぞご理解いただけたらと思います。以上です。

◎市長

今のも含めて、何かございませんでしょうか。

◎木下委員

卒業式のことが出ましたけれども、中学生の修学旅行が、2年生は今年度は行かないということになりましたが、では、今の2年生が来年度3年生になったときに修学旅行に行く、では、今の1年生、来年度2年生になる生徒たちはどうするのか。来年度は、2年生と3年生、それぞれ来年一緒に行くのか、予算のこともありますし、先生方からもそういう声が出ていまして、2学年が修学旅行に行くのか、そのあたりのことを教えていただけたらと思います。

○教育部長

お答えいたします。

今ご質問のあった件について、現段階で明確な結論については至っておりません。申し訳ありません。また検討しまして、しかるべきタイミングでお伝えをしたいと思っております。

また、この新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかということによりましても、大きく左右されることもございますので、そこも可能な限り見極めながら判断していきたい、と考えております。以上です。

◎市長

他に何かございませんでしょうか。

◎総合教育会議

特になし。

◎市長

それでは以上で用意している協議事項についてはこれで終了いたします。スムーズな進行にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

それでは、事務局へ進行をお返しいたします。

6. 閉会

○教育総務課長

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和2年度の第2回宇和島市教育総合会議を閉会いたします。大変お疲れ様でございました。